

2023  
12.10日

明治大学グローバルフロント1階  
グローバルホール

開会挨拶 10:30～

午前の部 10:35～

石川日出志 | 明治大学文学部  
教授

漢魏晋代印駝鈕の型式学・試論

朱棒 | 中国・湖南師範大学歴史文化学院  
講師

十六国官印的考古学研究 \*通訳あり

午後の部 13:00～

蔡忠義 | 明治大学大学院  
博士後期課程 <若手研究発表>

日中古代における人名の並称に関する基礎的考察

佐々木憲一 | 明治大学文学部  
教授

GHQによる行政発掘の日本考古資料

高島英之 | 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団  
専門員

東国出土の多文字及び人面墨書土器の機能について

休憩

牧野淳司 | 明治大学文学部  
教授

明治大学図書館の毛利家文庫旧蔵書について

石澤一志 | 明治大学文学部  
兼任講師

毛利家旧蔵の歌書一勅撰和歌集を中心に一

中村成里 | 明治大学商学部  
専任講師

毛利家旧蔵『百人一首註』について

閉会挨拶 16:45～

対面・オンライン併用開催

[http://www.isc.meiji.ac.jp/~meikodai/obj\\_info\\_kokyo2023.html](http://www.isc.meiji.ac.jp/~meikodai/obj_info_kokyo2023.html)

どちらの参加方法でも、事前申し込みが必要です。  
(12月4日締切、対面は先着80名)



# 交響する古代XIV

国際学術研究会 全体テーマ <古代東アジア社会の史資料―モノとテキスト―II>

主催：明治大学日本古代学研究所

共催：科学研究費 基盤研究 (B) 「璽印・ガラス・鉄器からみた西暦1～3世紀日本列島・東アジアの広域交流の重層性」(研究代表者：石川日出志)  
科学研究費 基盤研究 (A) 「双方向ネットワーク環境を活用したオンラインによる日本墨書土器データベースの構築」(研究代表者：吉村武彦)  
科学研究費 基盤研究 (B) 「中近世毛利家における知的体系の復元的研究―明治大学図書館所蔵毛利家旧蔵書を起点に」(研究代表者：牧野淳司)

# 交響する古代 XIV への参加方法

## 参加申し込み

対面（上限 80 名）とオンライン（Zoom 利用）の併用で開催します。  
参加方法を決め、**12月4日（月）**までに参加受付フォームからお申し込みください。  
URL [https://www.isc.meiji.ac.jp/~meikodai/obj\\_info\\_kokyo2023.html](https://www.isc.meiji.ac.jp/~meikodai/obj_info_kokyo2023.html)  
（右の QR コードを読み取ってもアクセスできます。）



## 事前準備 ① 配布資料のプリントアウト

参加受付フォームに入力いただいたメールアドレス宛てに、**12月8日（金）**に当日のご案内とともに配布資料（PDF）のダウンロード情報をお知らせします。事前にダウンロードいただき、必要に応じて印刷してください。（**会場での配布は行いません。**対面で参加される方も各自ご用意ください。）

### 対面を選択された方

体調が優れない場合、咳や熱といった具体的な症状がある場合には、**オンライン参加への変更**をご検討ください。  
（8 日のご案内で、対面参加で申し込まれた方にも Zoom の情報をお伝えします。）

### オンラインを選択された方

## 事前準備 ② Zoom アプリのインストール

事前に Zoom アプリをインストールしてください。

### パソコンの方

<https://zoom.us/download> にアクセスして、ミーティング用 Zoom クライアントをダウンロードして、実行します。

### スマートフォン・タブレットの方

右の QR コードを読み取り、アプリをインストールします。



### グローバルホールに来場

明治大学駿河台キャンパスのグローバルフロント 1 階グローバルホールにお越しください。  
**会場内は飲食禁止**です。昼食については会場周辺の飲食店の利用もご検討ください。



### ご自宅等から Zoom にアクセス

以下の諸点を守ってご参加ください。

- 録画および録音、スクリーンショットの撮影は禁止します。
- ミーティングルームの URL（およびルーム ID・パスワード）を第三者に教えること、SNS 等のインターネット上に掲載することは禁止します。
- 研究会中の雑音・ハウリング発生防止のため、質疑応答等の必要な場合を除き、**ミュート**にしてください。
- 回線の負担を軽減するため、**カメラ設定はオフ**のままとしてください。